

## 経験者採用

入省者インタビューvol.8 (技術/土木)

「スキルアップしたい。」との想いで  
手に入れたのは、市民の安心を守る誇りです。

### 主な経歴

- ▶ 高校卒業後、中堅の建設会社で9年半ほど勤務。
- ▶ その後「自分のスキルを高めたい」と建設コンサルタント会社に転職。
- ▶ 12年半勤務した後、国土交通省に入省。現在係長3年目。
- ▶ 休日は好きなアーティストのライブに行ったり、小説を読んだりしている。

#### ●令和2年4月 中部地方整備局 採用

◇令和2年4月～令和3年3月

三重河川国道事務所 道路管理第二課 維持修繕係長

◇令和3年4月～令和4年3月

(本局) 道路部 高規格道路管理センター 高規格道路管制員

◇令和4年4月～現在

(本局) 道路部 道路管理課 道路保全企画係長



菅原 朋之さん  
【採用3年目】

### 転職理由と、この会社に決めた理由

高校卒業後に入った会社は、中堅の建設会社。ここでは施工に関する基本や業務のノウハウなど、様々なことを教えてもらいましたね。気づけば9年半が経っていました。「もっと土木技術者のスキルを磨きたい」と思い、転職を決意。建設コンサルタント会社で新たなスタートを切りました。2つ目の会社では、発注者の支援業務を行っていました。12年半ほど勤め、この会社で学べることに「さらなるスキルアップできる環境」という軸で、新たな職場を探すことにしました。

建設会社にいた頃から道路事業に関わっていたこともあり、当局への入省に迷いはありませんでした。むしろ「ここなら民間企業では学べない、新しいことを学べそう」とワクワクしました。さらに、道路の維持管理に将来性も感じていたため、入省を決意しました。

### 仕事の感想と、入社して良かった点

現在は「道路部 道路管理課」に所属しており、道路の維持管理に関わる業務を行っています。これまでの現場経験や発注者支援業務の経験を活かしつつ、道路管理者としての考え方についても学ばせていただいている環境です。「スキルアップしたい」という目標があったので、多種多様な業務に携われることはとてもうれしく感じています。先輩も常に近くにいる、わからないところは丁寧に教えてくれるため、入省後不安に感じたことはありません。

あとは、インフラの維持管理に携われているという仕事の誇りがあります。私たちが行っているのは、道路の保全。つまり、地震などの災害によって道路が通れなくなってしまうのを未然に防ぎ、市民の安心を守る役割を担っています。上司に解決策を提案したり、どういう風に人を動かしたらいいのかがえたり。そういった日々の業務に大きなやりがいを感じています。



### 中途入省だからわかる社風・カルチャー

毎日あわただしく動いています。周りとのコミュニケーションを図る機会も多く、仕事の話はもちろん、プライベートの話や冗談を言って盛り上がる場面もあります。前職では、“個人”で散らばって動くことが多く、コミュニケーションもそこまで頻繁に行われてはなかったのですが、こうして周りとの連携したり、“チーム”で動けたりすることはとてもうれしく感じています。

配属直後は正直不安もありました。でも、先輩も気軽に話しかけてくれる方が多く「ここ大丈夫?」「わからないことがあったら気軽に質問してね。」といった優しく接してくれていたため、その不安はすぐに取り除かれましたね。転職前に抱いていた理想の毎日を歩むことができています。

## 経験者採用

入省者インタビューvol.9 (技術/土木)

家族を守りながら、挑み続ける。

### 主な経歴

- ▶ 新卒入社した会社では建設コンサルタントとして活躍し、その後は他地方の県庁職員に。現在は国土交通省の中部地方整備局にて技術職に就いている。
- ▶ 趣味は登山であり、大学時代は北アルプスの山を片道4～5時間かけて登っていた。子どもが生まれてからは、庭でボール遊びをしたり、ゲームに付き合ったりなど、家族と土日過ごすことが多い。
- ▶ 最近ハマっていることは、作り置きできる料理づくり。

#### ●令和3年2月 中部地方整備局 採用

◇令和3年2月～令和5年3月

静岡河川事務所 調査課 水防企画係長、計画係長

◇令和5年4月～現在

(本局) 防災室 計画係長



大林 由明さん  
【採用3年目】

### 転職理由と、この会社に決めた理由

「もっとスキルアップしたい」と考えるようになり、転職を決意。前職は他地方の県庁職員、その前は民間企業で建設コンサルタントとして活躍していました。建設コンサルタント時代は自らが実施主体として携わることができず、受注者として仕事をしていました。「自分から計画に携われたらな…」という思いが日に日に大きくなり、新しい環境を求めようになりましたね。

転職先を探す中でも国土交通省を選んだ理由は、検討していたどの会社よりも上流から携われそうだと感じたから。他の県や市、町の職員も検討していましたが、国土交通省ほど大きなプロジェクトを主導できる機会はなかなか多くないと思いました。

### 仕事の感想と、入社して良かった点

現在は「防災室」と呼ばれる部署で、防災訓練の立案・運営を行い災害に備えたり、台風や洪水時には災害対策本部を立ち上げ、情報を収集し、支援のための調整などを行っています。

入省前に抱いていたイメージと大きなギャップはありません。県の職員と仕事の流れに大きな相違はなく、前職の経験を活かすことができました。異なる点で言えば、今までよりも少し難易度が上がったこと。難しい工事が多く、多くの関係者の声をもとに検討をするため、仕事の中身は濃くなったと思います。

また、去年は静岡河川事務所配属されていましたが、台風15号の災害対応をしていた時のこと。災害対応の後処理や復旧に向けての調査、工事の手配をする中で、大変なことも少なくありませんでした。それでも、事務所の同僚や本局の工事担当者が相談に乗ってくれて、助かったと同時にとても勉強になったことを覚えています。転職で実現したかった「スキルアップ」も十分に実現できていますね。

### 中途入省だからわかる社風・カルチャー

私の部署は、40代の職員が中心となって、職場を回している印象です。全体的に明るく、良い意味で騒がしいんです。何しろチームで進んでいかないとイケない仕事なので、コミュニケーションを大切にしています。仕事の話だけでなく、家族の話やたわいのない話をすることも多いです。

オンとオフとのメリハリのある部署で、家族を大切にしている職員がとて多いと感じます。民間企業で働いていたときは「仕事優先」という雰囲気でしたが、今の部署では「家族との時間を大切にしようね」と言ってくれる人が多く、驚きました。子どもや妻の体調不良時も「すぐに帰らなさい」と言ってもらえるので助かります。

職場を見渡すと、女性は男性に比べて少なめですが、特に若い世代ほど女性の割合が高くなってきていると感じます。また、中途採用職員も増えてきたので、採用後に悩みがあったら、中途採用職員同士で相談する環境も整ってきたと思います。

今回入省される方も、「家庭を大切にしながら、挑戦ができる」そんな魅力を感じられると思います。興味を持たれた方は、ぜひ一緒に働きましょう。